

# 9月の野菜の見通し

令和4年8月31日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント***
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	8,977	少ない	9,923	109	106%	103	0	0.0%	北海道・青森産は大雨の影響で作柄は良くない。また、播種期も降雨が多かったため作付けが順調にはいかず、9月の出回りは前年・平年を下回る予想。見通し単価は前年をやや上回り、平年でも1割上回る。
はくさい	8,350	多い	9,937	150	57%	112	-	-	長野産は生育順調。予想入荷量は少なかった前年を上回り平年並み。現状は数量十分な中で消費鈍く安値だが、9月になると量販店の品揃えが変わってくるため幾分か需要増となろう。それでも見通し単価は前年・平年を大幅に下回る。
キャベツ	16,724	多い	16,596	107	75%	98	-	-	岩手産は8月中旬の大雨の影響で月前半は数量少なめ、後半には回復してくるか。群馬産は問題なく潤沢な出回りが続く見込みで、全体量は前年・平年をやや上回る予想。見通し単価は前年・平年を2割程度下回る。
ねぎ	4,195	少ない	4,257	320	113%	347	318	7.6%	東北産は8月中旬までの大雨の影響から傷みや病害が散見されており、9月も出回りは少なめで前年・平年をやや下回る予想。相場は旧盆後の高騰からは下落するも、給食・業務需要が回復し堅調推移とみる。見通し単価は前年を1割以上に上回り、平年をわずかに上回る。
きゅうり	6,813	並み	7,286	362	97%	339	289	4.2%	東北産は8月中下旬の大雨・曇天を受けて出回りは少なめの予想。また、盛期を過ぎて減少傾向となるため、上旬は後続の関東産との端境になる。関東産は下旬には出揃ってこよう。全体量はやや少なかった前年並みで平年を下回る。見通し単価は前年をわずかに下回るも平年をわずかに上回る。

# 9月の野菜の見通し

令和4年8月31日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント***
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
なす	2,559	並み	2,952	419	87%	386	11	0.4%	栃木・群馬産はピーク過ぎ8月の出方より減少して単価は上昇する予想。月後半から高知産が漸増。予想入荷量は少なかった前年を上回り平年並み。見通し単価は高かった前年を1割以上に下回り、平年をやや下回る。
トマト	5,902	少ない	6,591	489	92%	451	85	1.4%	青森産は8月中旬の大雨で圃場が水に浸かるなどして作柄悪化。また、東北産が盛期を過ぎて減少傾向となる。関東産抑制作が出てくるが、低段は高温による着果不良あり9月の間は少なめとみる。全体量は少なかった前年並みで平年を下回り、見通し単価は前年をやや下回るも平年並み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)\*、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)\*\*、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)\*\*\*

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)